

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
23年第14号	23.12.2	<p>障害児学校の普通教室不足の早期解消を求める請願</p> <p>【請願主旨】</p> <p>2009年12月には県教育委員会が「県立特別支援学校整備計画」（以下「整備計画」）を発表した。</p> <p>しかしながら、障害児学校の児童生徒数はさらに増加し、「整備計画」の予想を大きく超える状況で、教室不足は一層深刻さを増し167教室（2011年5月1日；教育庁財務課調べ）にも達し、障害児学校の新設、教室の増設は待ったなしの状況に至っている。各学校では普通教室の確保のため、音楽室等の特別教室を普通教室に転用している。恒常的な特別教室の転用は障害のある子どもたちの教育活動を大きく制限している。</p> <p>特に、勝田養護学校、つくば養護学校、鹿島養護学校の不足教室解消は一刻の猶予も許されない深刻な状況になっている。</p> <p>勝田養護学校については、「整備計画」を早急に実施するとともに、計画の内容をさらに充実させ、分離する学校は本校として高等部も設置することが必要と思われる。</p> <p>つくば養護学校、鹿島養護学校について、「整備計画」では、「推移を見極めた上で、検討」とされ、具体的施策が何も示されていない。つくば養護学校はすでに児童生徒数は370名を超え、不足教室もつくば養護学校(19教室)、鹿島養護学校(12教室)と、過大・過密状況は極めて深刻である。このままでは、両校の子どもたちは十分な教育環境が保障されない状況がいつまでも続くことになる。つくば・鹿島養護両校の過密解消のための具体的施策の実施が求められている。</p> <p>障害のある子どもたちの教育条件の一層の充実のために、次の請願事項のすみやかな実現を望む。</p>	茨城県高等学校教職員組合障害児学校部 代表者 塚田 良夫 外3,665名	大 内 久美子	文教治安	不採択

【請願事項】

- 1 障害児学校の普通教室不足を解消するために、必要な施策を早急を実施すること。